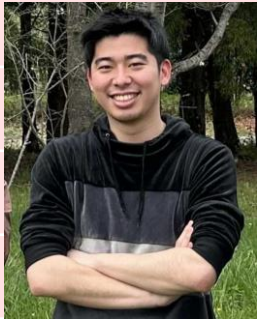


名前	渡邊 瑛（ワタナベ アキラ）	
所属	筑波大学・生物学学位プログラム	
職種・学年	博士後期課程2年	
実験動物	キョロショウジョウバエ	
好きな実験	qPCR / ELISA(定量データが出るのが好き)	
趣味	コーヒー、スキー、Rで見やすいグラフを描く	
Homepage	https://sites.google.com/view/niwa-lab-tsukuba/home	
ひとこと	顕微鏡の使いすぎで目が疲れやすいので、いい目のケアを探しています	
研究紹介	ショウジョウバエや培養細胞系を用いて、ペプチドホルモンの新規受容体探しを行っています。また、最近は大塩ストレスにさらされたショウジョウバエが、どのような内分泌機構を介して適応するのかを調べ始めています。	
トピック1：研究者を志したきっかけ	中学の理科の先生に「実験の面白さ」を、高校の生物の先生に「実験から得られたデータから考察する面白さ」を教えてもらったのが今思い返すと自分が研究をやり続けている原点なのかな、と思います。苦労して得たデータから仮説を補強するようなものや新しい発見をしたときは本当に楽しいです。	
トピック2：目標、チャレンジしたいこと	今年初めて比較内分泌学会に参加させていただいたのですが、非モデル生物を含めた様々な種で実験を行っている皆さんと交流して「自分もショウジョウバエ以外の動物種を使って比較しながら実験したい」と思い始めてます。特に、甲殻類やクモ・ダニといった昆虫でない節足動物と昆虫を比較すると面白いんじゃないか？と考え中…	



研究室にはスタッフ・学生合わせて20人以上います。議論も活発です。

実験に使うハエは普段はバイアルで飼育して、交配させて様々な遺伝学的操作を行います。小さいので、出てきたハエの解剖等も一苦労…